

令和2年 5月の住まいのきになる通信



(1) 住宅ローン、支払柔軟に

住宅機構、返済期間を最長 15 年延長 条件変更手数料無料の銀行も

*新型コロナウイルスの影響による収入減で住宅ローンの支払いが難しくなる利用者の増加に備え、金融界が返済期間を延ばすといった対応に動き始めました。

*「フラット35」を提供する住宅金融支援機構は、返済期間について最長15年間の延長に応じます。

*対象は勤務先の業績悪化で収入が減った人や解雇された人、病気で返済が困難になった人など。

*こうした条件に加え、年収が年間返済額の4倍以下といった収入額の基準にも当てはまり、特例を使えば返済を継続することができると判断された場合に利用できます。

*完済時の年齢が80歳までが対象。

(2020年4月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) マンション修繕積立金 自宅担保に融資

住宅機構 老朽化備え

*住宅金融支援機構は、マンション所有者が自宅を担保に修繕積立金を借りられるローンを2020年度中に投入。

・毎月の修繕積立金を将来分もまとめて貸し出します。

*借り手は利息の支払いだけ。

*元金は死亡後に自宅の売却で返済。

*高齢者が自宅を担保に生活資金を借り、死後に物件を引き渡すリバースモーゲージのマンション修繕版と呼べる仕組み。

(2020年4月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



住宅診断 - ホームインスペクション 戸建て住宅調査項目

外部階段

確認部位	調査項目			なし	あり
	詳細部位	仕様	状態		
外部階段	(1) 構造体や支持部		著しい欠損		
			取付部の破損		
			ぐらつき		
			その他：		
	(2) 踏面		腐食		
			破損		
			その他：		
		(3) 転落防止用手すり		ぐらつき	
			支持部材の腐食		
			その他：		
	(4) その他：				

(NPO法人日本インスペクターズ協会 ホームインスペクター資格試験テキストより抜粋引用)

